

つくし
保育園って
こんな園!

Tsukushi
Club

1 つくしクラブ

“つくしクラブ”は子どもたちが主体的に考え、答えを導き出す「気づきの瞬間」を大切にする理科の実験プログラムです。子どもの関心・興味を拓けるテーマを設け、主体的に取り組む実験と検証から、自らが気づき、考える楽しさを知り、行動することができる『生きる力』を育てています。現在は主に5歳児クラスが取り組んでいますが、今後は年齢に合わせたプログラムを作っていきたいと思っています。



雲ってこうやってできるんだ♪ おもしろ〜い!



2 食育

食事から体が作られていく大切な時期だからこそ、食育を大切にしています。そして食育を通して、生命の尊さも学んでいきます。幼児期になると「さんまの生態」を学び、丸ごと一尾の生サンマを実際に触り、「血が出てる」「目が怖い」など、食卓に出る魚料理とは異なる一面に驚きながら、最後は自分の力で骨を取り分けて食べるという取り組みも行っています。また、定期的に行うクッキングでは、買い物から調理まで行い、自分たちが育てた野菜を給食のおかずとして食べるなど、一年を通して多様な食育プログラムを取り入れています。



自分で骨を取って食べるんだよ!

dietary
education

3 日常の活動

～子どもの声を取り入れた保育～

つくし保育園の強みは、一人ひとりの成長を見守ることが出来ること。天気の良い日にはお散歩に出かけます。お散歩を通して、子どもが興味や関心を持つ幅が広がっていくことを実感することも多くあります。また、子どもの関心が高い絵本については、本の世界観と一緒に楽しみ、制作活動に繋げることも。これがつくし保育園の『子ども主体の保育』です。

everyday
life



いってきまーす!

あっ! 絵本と一緒にだ!!

4 職場環境

残業は月2〜3時間程度。各園ではクラス毎に毎週の登園児数を把握し、日々の業務時間内で事務作業などが行える取り組みをしています。各園で休憩室を用意していますので、保育室から離れてゆっくりと休息も取れるようになっています。休憩中に一緒になった先生との談笑も気分転換の一つです。



work
environment

分からないことは何でも聞いてね。

1日のスケジュール (早番勤務の一例)

- 01 6:45 出勤、開園準備
- 7:00 園児たちの登園、自由遊び
- 9:45 朝の会
- 02 03 10:00 主活動
- 04 11:30 給食
- 12:30 休憩
- 05 13:30 お昼寝の見守り
- 15:00 おやつ
- 06 15:45 帰りの会、順次降園



01 出勤してタイムカードを打刻した後は、順次登園してくる園児をお出迎え。保護者からの連絡事項や子どもの様子はしっかりと職員間で共有します。02 『リズムあそび』はピアノの音に合わせて、自由に体を動かして体と心の表現力を育てます。年齢に合わせた四肢の発達に励み、晴れた日には公園へ。子どもたちの興味・関心に目を向けると、子どもたちの感受性や表現力に大きな成長が見られます。03 楽しい給食の時間。園児それぞれの食事ペースや食事量を確認しながら、年齢に合わせたサポートをしています。04 事務作業は基本的にパソコンを使用。連絡ノートを記録したり、交代で見守りをしながら、行事準備を進めます。05 子どもたちとハイタッチで「また明日!」連絡事項など引継ぎをして退勤します。



リアルボイス



東戸塚園
ひめか先生

学生の時に制作した「はたらくくるま」のスケッチブックシアターを披露すると、子どもたちが大喜びで「もう一回!」と言ってきて、凄く嬉しかったです。園で楽しかったことを沢山ご家庭で話してもらえるといいな。



センター南園
あすか先生

つくし保育園にはリクレーターがいます。先輩保育士が園を案内したり、入職後も相談役としてサポートしていきます。よりリアルなつくし保育園をお伝えしますので、入職後に「この園で働けて良かった」と思ってもらえたら嬉しいです。



保護者の声

幅広い年代の先生方がいらっしやるので、子どものことや子育てのことを相談しやすく、とても感謝しています。また、お迎えに行った時の子どもの表情や先生たちの明るい笑顔を見ると親としてもホッとします。



保護者の声

自宅に帰った後やお休みの日にも、保育園でやったこと、お友達のことなどを楽しそうに話してくれます。「〇〇せんせい大好き」と聞いた時には、子供が安心して保育園に通っていると実感できて、思わず先生にもお伝えしました。